

## 中期経営計画進捗

2023年度より開始した中期経営計画について、2年目である2024年度は、財務目標については順調な進捗となりました。また、非財務目標については項目により濃淡がありますが、それぞれの課題を踏まえ、目標達成に向けた取り組みを進めています。

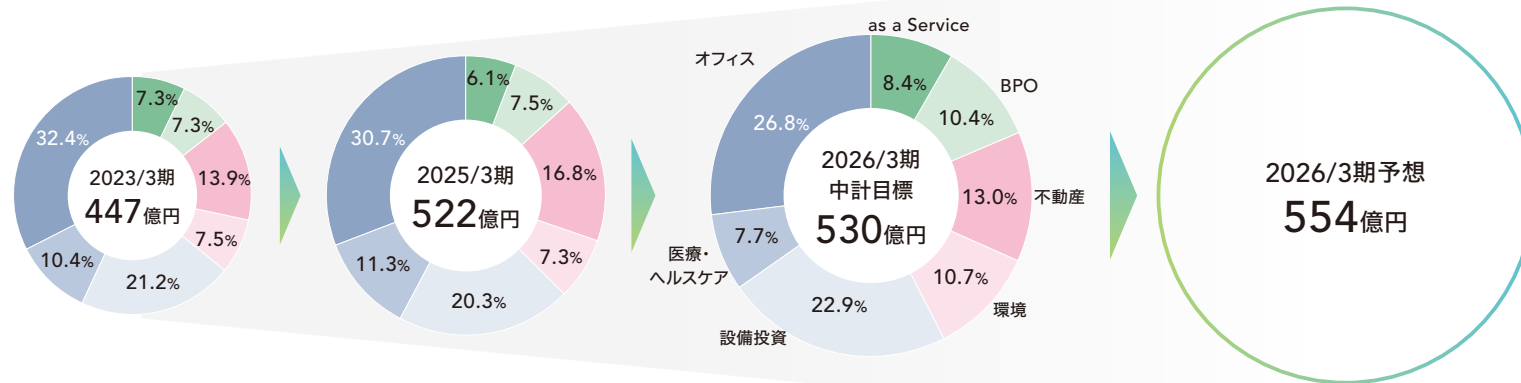
### 事業成長戦略

戦略	事業分野	施策
新たなビジネスモデルへの挑戦	as a Service	<ul style="list-style-type: none"> <li>DaaS(Device as a Service)による、大手顧客への価値提供</li> <li>リース商材をはじめとした、as a Service化に向けたアライアンス強化</li> </ul>
	BPO	<ul style="list-style-type: none"> <li>集金代行サービスのさらなる取り扱い拡大と、決済周辺サービス拡充</li> <li>海外からのビジネス渡航需要をとらえたサービス提供の拡大</li> </ul>
事業&サービス付加による多様化	不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な資産積み上げと、資産価値を向上するサービスの開発</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電所のアセットマネジメントサービスを含めた、事業の多様化</li> <li>他電源へのチャレンジ、および蓄電池分野の研究</li> </ul>
	介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>Welfareすずらんの事業運営と、業界ノウハウの蓄積</li> </ul>
効率を伴うさらなる拡大	<p>当社の成長を支える最重要基盤</p> <p>  オフィス            医療・ヘルスケア            設備投資         </p>	

### 組織能力強化戦略

戦略	施策
事業成長につながるチャレンジの促進および組織の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>挑戦する人財の育成、および挑戦する風土の醸成に資する制度の強化</li> <li>変化する外部環境に柔軟に対応する制度の構築と、多様な人財が活躍できる組織づくり</li> </ul>
社会変化に合わせた柔軟なシステムおよび業務体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>リース関連業務システムの順次切り替えによる、自動化および効率性の向上</li> <li>インフラの刷新とサイバーセキュリティの強化</li> <li>IT管理・統制の向上によるITガバナンス強化</li> </ul>
関係会社を含めたガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部とのコミュニケーションを通じた、サステナビリティ経営の進化</li> <li>グループ各社との連携強化と、戦略統合を通じた事業拡大</li> </ul>

### 差引利益構成比の推移



当社グループでは事業分野ごとにそれぞれの市場に即した戦略を立案し、各事業の拡大を目指しています。

中期経営計画においては、差引利益<sup>\*</sup>を2023年3月期の447億円から、2026年3月期には530億円に成長させることを目標として掲げています。

2025年3月期は、営業資産の積み上げや資産利回りの向上により522億円となりました。

2026年3月期は、分野ごとの戦略が奏功し、さらなる営業資産の積み上げや資産利回りの向上により中計目標を上回る554億円に達すると予想しています。

<sup>\*</sup>差引利益：売上高より資金原価を除く売上原価を差し引いた額

## Index

### Section 1

イントロダクション

### Section 2

持続的な価値創造への原動力

### Section 3

価値創造を推進する重点戦略

#### ● 中期経営計画進捗

財務戦略

システム戦略

人事戦略

営業担当役員メッセージ

事業分野と社会の接点

事業分野別戦略

効率を伴うさらなる拡大

事業&サービス付加による多様化

新たなビジネスモデルへの挑戦

### Section 4

サステナビリティへの取り組み

### Section 5

企業価値向上を支える経営基盤

### Section 6

データ



## 中期経営計画進捗

### 財務目標

2026年3月期の計画予想について、営業利益および当期純利益の減益は、想定よりも早く市場金利が上昇したことや人的資本投資を推し進めたことが主な要因です。

一方で、営業資産の積み上げは、概ね中計の想定通りを見込んでおり、新規契約利回りも市場金利の上昇に追隨して向上しています。引き続き中計最終年度、また次期中計を見据え、事業成長の継続と資産利回りの向上に努めていきます。

#### 中期経営計画の数値目標

	2023/3期		2024/3期		2025/3期		2026/3期 中期経営計画目標	2026/3期 予想
	実績	特殊要因 除く実績 <sup>※1</sup>	実績	特殊要因 除く実績 <sup>※2</sup>	期初計画	実績		
営業利益	212億円	200億円	210億円	210億円	211億円	217億円	235億円	190億円
当期純利益	148億円	140億円	112億円	148億円	147億円	156億円	160億円	132億円
ROA(純利益/総資産)	1.23%	1.17%	0.91%	1.20%	1.14%	1.19%	1.1%以上	0.93%
ROE(純利益/自己資本)	7.2%	6.8%	5.2%	6.9%	6.5%	6.9%	7%以上	5.6%
配当性向	30.1%	—	41.0%	—	34.6%	35.4%	40%以上	43.2%

※1 コロナ関連レンタル特需(レンタル延長収益: +11億円)による一過性の利益を計上 ※2 特別損失(投資有価証券評価損: △51億円)による一過性の損失を計上

### 非財務目標

マテリアリティ	項目	2023/3期実績	2024/3期実績	2025/3期実績	2026/3期目標
クリーンな地球環境をつくる	環境分野への 累計資金投下額 <sup>※3</sup>	2,720億円 <sup>※6</sup>	3,138億円	3,477億円	4,000億円
豊かな暮らしをつくる	集金代行稼働サービス数	16,682 サービス	17,861 サービス	18,987 サービス	20,000サービス
持続可能な経済の好循環をつくる	重点3分野契約実行高 <sup>※4</sup> (建機・車両・農業)	320億円	303億円	377億円	450億円
ハピネスな会社、そして社会をつくる <sup>※5</sup>	エンゲージメントスコア (年間平均)	72点	71点	71点	75点
	女性管理職比率	23.0%	21.8%	23.8%	25%
	一人当たり教育費	39,730円	40,016円	58,176円	55,000円

※3 再生可能エネルギー分野におけるリース・割賦の契約実行高、および太陽光発電事業、エクイティ投資額の累計実績

※4 リース: 取得した賃貸用資産の取得金額、割賦: 割賦債権から割賦未実現利益を控除した額

※5 実績・目標はリコーリース単体

※6 環境関連融資を精査し、2,703億円から2,720億円に遡及修正

## Index

### Section 1

イントロダクション

### Section 2

持続的な価値創造への原動力

### Section 3

価値創造を推進する重点戦略

#### ● 中期経営計画進捗

財務戦略

システム戦略

人事戦略

営業担当役員メッセージ

事業分野と社会の接点

事業分野別戦略

効率を伴うさらなる拡大

事業&サービス付加による多様化

新たなビジネスモデルへの挑戦

### Section 4

サステナビリティへの取り組み

### Section 5

企業価値向上を支える経営基盤

### Section 6

データ

